

平成 30 年 6 月 8 日

芦屋市企画部市民参画課
課長 浅野 令子 様

芦屋市立あしや市民活動センターリードあしや
(指定管理者：(特活) あしや NPO センター)
事務局長 橋野 浩美

トライやる・ウィーク受入事業報告

日 時：平成 29 年 5 月 21 日 (月) ～ 6 月 8 日 (金) 9 時～15 時 10 時～16 時

学 校：山手中学校 2 人 潮見中学校 3 人 精道中学校 3 人

協力団体：(社福) 三田谷治療教育、(認特) フードバンク関西

目 的：ボランティア、NPO とは何かを理解してもらい、市民活動団体の支援の場である市民活動センターの存在を若い世代から理解していただくこと。

内 容：NPO とは (NPO 団体の活動体験と座学)

センターの機能を知る。(センター内ふしぎ発見と機器体験等)

ボランティアとは (障がい者施設の訪問と座学)

企画会議体験やコミュニティビジネス企画立案

成果発表会 (最終日)

評 価：昨年度同様に他団体の協力もあり、計画は全体的に充実していた。

他団体訪問により、団体同士等を繋げることや団体への支援など、当センターの役割に触れ理解していただいた様子だった。

名刺作成や、企画立案の実体験など初めてのことは、戸惑いながらも楽しみ、学び、市職員に協力をいただき名刺交換の場も持て良い体験となった。今年度は、コミュニティビジネスや、イベントの企画を作り上げる体験を通して考える力と達成感を得たようであった。

当センターの職員の学びの場ともなったが、盛り込み過ぎた感あった。

成 果：他団体訪問のレポートや、日々の振り返り、成果発表会から、ボランティア、NPO についてほぼ理解していることがわかった。生徒の毎日の日誌には、保護者のコメントもあり、生徒からは保護者とよく話をしていることを伺い、当センターのことも知ってもらったように思えた。また、のボランティアにも興味を持ち、参加、参画の意思が伺えた。

振り返り：今後、彼らが市民活動に興味を持ち、このセンターを利用していくことを期待している。

毎朝のオリエンテーションと終了の振り返りは、専任し、プログラム毎には担当で分担しすすめたことで職員の研修にもなった。来年度は、他団体訪問も全職員であたりたいと考える。